

生活行動に関する結果

1 学習・自己啓発・訓練

千葉県に住んでいる 10 歳以上の人のうち、過去1年間に何らかの「学習・自己啓発・訓練」を行った人は 238 万1千人で、行動者率は 42.0%となっている。これは全国平均の 39.6%を上回っており、前回調査の平成 28 年と比べて 0.9 ポイントの増加となっている。行動者率は女性よりも男性の方が高く、男女とも平成 28 年より増加している。〔表1〕

表1 「学習・自己啓発・訓練」の行動状況(令和3年・平成 28 年)

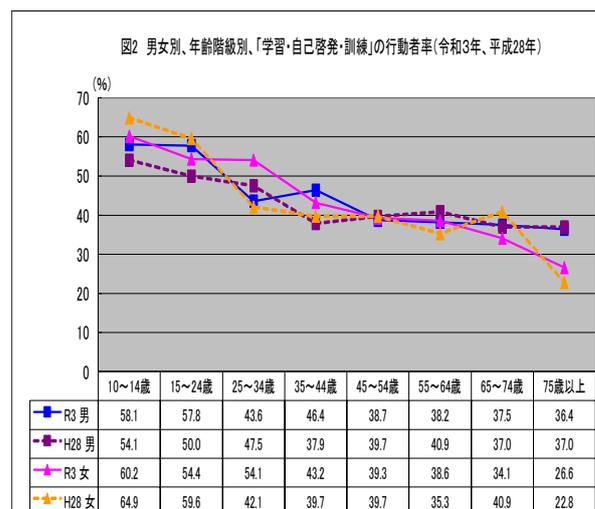
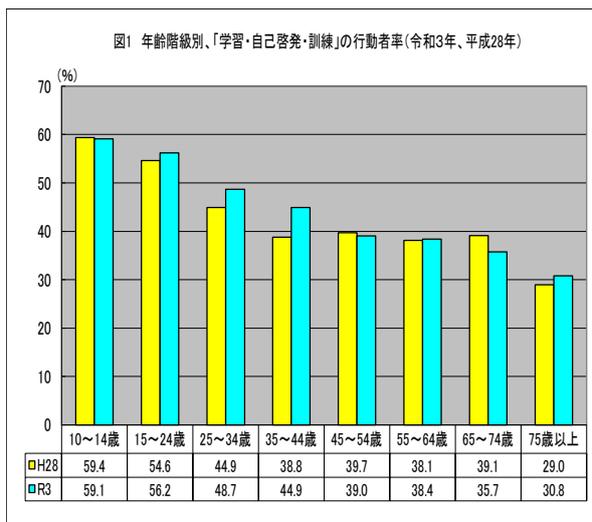
	10 歳以上推定人口 (千人)			行動者数 (千人)			行動者率 (%)		
	R3	H28	増減	R3	H28	増減	R3	H28	増減
総数	5,670	5,614	56	2,381	2,309	72	42.0	41.1	0.9
男	2,819	2,795	24	1,210	1,165	45	42.9	41.7	1.2
女	2,851	2,819	32	1,171	1,144	27	41.1	40.6	0.5
男女差	-32	-24	-8	39	21	18	1.8	1.1	0.7

(参考)行動者率の全国順位

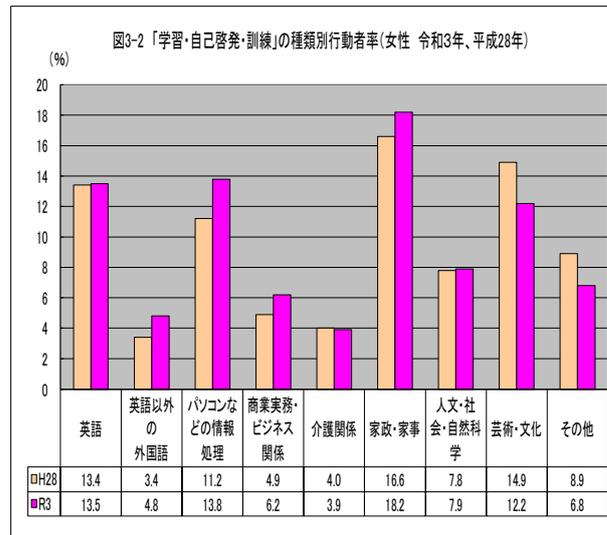
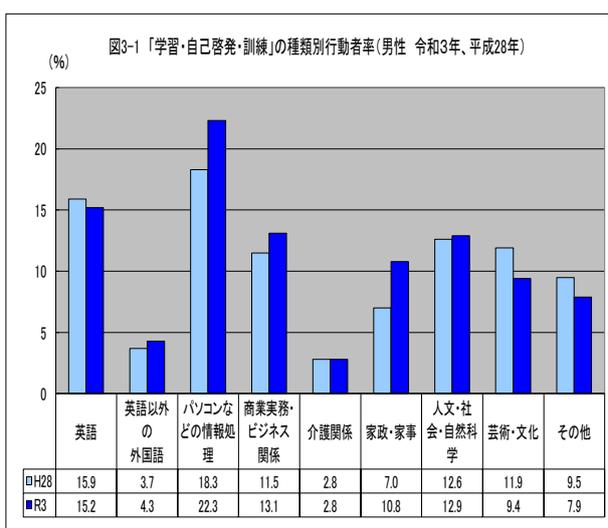
	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
令和3年	東京都	52.8%	神奈川県	46.7%	京都府	43.5%	4位	42.0%	39.6%
平成 28 年	東京都	46.2%	神奈川県	43.9%	千葉県 京都府	41.1%	3位	41.1%	36.9%

年齢階級別に「学習・自己啓発・訓練」の行動者率をみると、10～14 歳で 59.1%と最も高くなっている。平成 28 年と比較すると、35～44 歳で 6.1 ポイントと最も増加しており、65～74 歳で 3.4 ポイントと最も減少している。〔図1〕

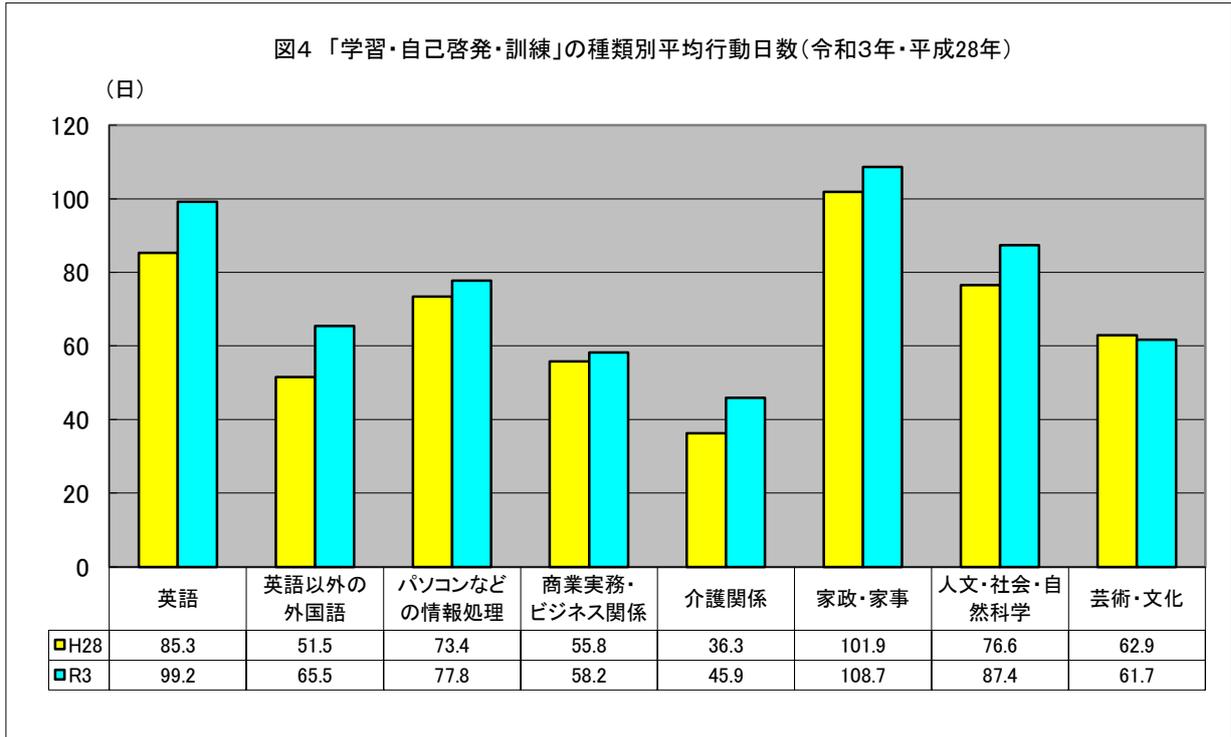
これを男女別にみると、最も割合が高いのは、男女とも 10～14 歳(男性 58.1%、女性 60.2%)であり、最も低いのは、男女とも 75 歳以上(男性 36.4%、女性 26.6%)であった。平成 28 年と比較すると、最も増加しているのは男性が 35～44 歳の 8.5 ポイント、女性が 25～34 歳の 12.0 ポイントであり、最も減少しているのは、男性が 25～34 歳の 3.9 ポイント、女性が 65～74 歳の 6.8 ポイントであった。〔図2〕



「学習・自己啓発・訓練」の種類別の行動者率を男女別にみると、男性では平成 28 年と同じく「パソコンなどの情報処理」が最も高い(22.3%)。女性では平成 28 年と同じく「家政・家事」が最も高くなっている(18.2%)。〔図 3-1・3-2〕



「学習・自己啓発・訓練」の種類別の1年間の平均行動日数をみると、「家政・家事」が108.7日と最も多い。平成 28 年と比較すると、「芸術・文化」を除く全ての種類で平均日数が増加している。〔図4〕



2 スポーツ

過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は 382 万1千人で、行動者率は 67.4%となっている。これは全国平均の 66.5%を上回っており、平成 28 年と比べて 4.2 ポイントの減少となっている。行動者率は女性よりも男性の方が高く、男女とも平成 28 年より減少している。

[表2]

表2 「スポーツ」の行動状況(令和3年・平成28年)

	10歳以上推定人口(千人)			行動者数(千人)			行動者率(%)		
	R3	H28	増減	R3	H28	増減	R3	H28	増減
総数	5,670	5,614	56	3,821	4,021	-200	67.4	71.6	-4.2
男	2,819	2,795	24	1,979	2,119	-140	70.2	75.8	-5.6
女	2,851	2,819	32	1,842	1,903	-61	64.6	67.5	-2.9
男女差	-32	-24	-8	137	216	-79	5.6	8.3	-2.7

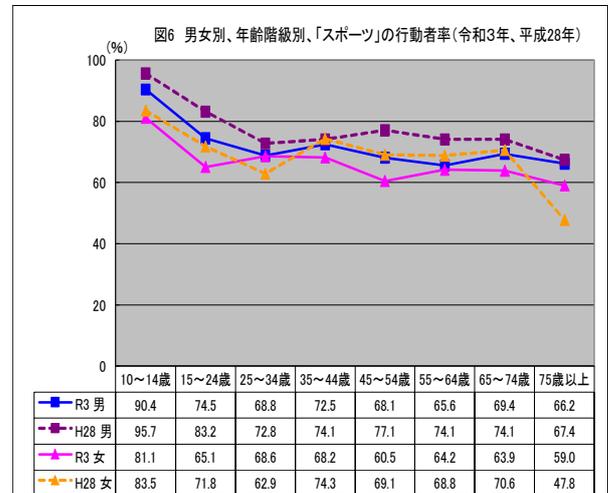
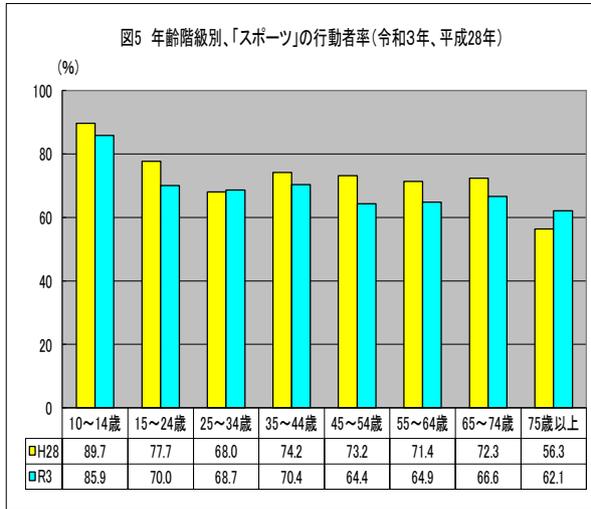
(参考)行動者率の全国順位

	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
令和3年	東京都	74.5%	神奈川県	71.8%	埼玉県	69.3%	5位	67.4%	66.5%
平成28年	東京都	75.7%	埼玉県	72.6%	神奈川県	72.4%	4位	71.6%	68.8%

年齢階級別に「スポーツ」の行動者率をみると、10～14歳が 85.9%と最も高くなっている。平成 28 年と比較すると、75歳以上で 5.8 ポイントと最も増加している。〔図5〕

これを男女別にみると、男女とも 10～14歳が最も割合が高く(男性 90.4%、女性 81.1%)、

全ての年代で男性の行動者率が女性の行動者率を上回っている。平成 28 年と比べると、男性では全ての年代で行動者率が減少しており、女性では 75 歳以上で 11.2 ポイントと最も増加している。〔図6〕



「スポーツ」の種類別の行動者率を男女別にみると、男女とも「ウォーキング・軽い体操」が最も高い。

また、年齢階級別にみると、全ての年代で「ウォーキング・軽い体操」が最も高くなっており、さらに男女別にみると男性の 10～14 歳の「ジョギング・マラソン」を除いて、全ての年代で「ウォーキング・軽い体操」が最も高くなっている。〔表3〕

表3 男女別、年齢階級別「スポーツ」の種類別行動者率の順位(令和3年)

		1 位		2 位		3 位	
総数	総数	ウォーキング・軽い体操	46.9% H28: 43.9% 1位	器具を使ったトレーニング	13.2% H28: 15.3% 2位	ジョギング・マラソン	12.5% H28: 14.2% 3位
	10～14 歳	ウォーキング・軽い体操	36.0%	ジョギング・マラソン	33.7%	バドミントン	25.5%
	15～24 歳	ウォーキング・軽い体操	35.7%	ジョギング・マラソン	23.3%	器具を使ったトレーニング	16.7%
	25～34 歳	ウォーキング・軽い体操	44.0%	器具を使ったトレーニング	18.1%	ジョギング・マラソン	16.5%
	35～44 歳	ウォーキング・軽い体操	48.6%	ジョギング・マラソン	17.9%	器具を使ったトレーニング	15.4%
	45～54 歳	ウォーキング・軽い体操	45.6%	器具を使ったトレーニング	12.2%	ジョギング・マラソン	10.2%
	55～64 歳	ウォーキング・軽い体操	49.3%	器具を使ったトレーニング	15.8%	ゴルフ	9.8%
	65～74 歳	ウォーキング・軽い体操	54.6%	器具を使ったトレーニング	12.5%	ゴルフ	10.4%

	75歳以上	ウォーキング・ 軽い体操	51.1%	ゴルフ	6.8%	器具を使ったトレーニング	6.0%
男	総数	ウォーキング・ 軽い体操	43.4% H28:39.8% 1位	ジョギング・マラソン	16.7% H28:18.4% 2位	器具を使ったトレーニング	15.0% H28:17.0% 3位
	10～14歳	ジョギング・マラソン	34.7%	サッカー	31.5%	ウォーキング・軽い体操	29.9%
	15～24歳	ウォーキング・ 軽い体操	32.5%	ジョギング・マラソン	26.6%	器具を使ったトレーニング	25.2%
	25～34歳	ウォーキング・ 軽い体操	40.9%	器具を使ったトレーニング	25.7%	ジョギング・マラソン	23.1%
	35～44歳	ウォーキング・ 軽い体操	43.3%	ジョギング・マラソン	22.9%	器具を使ったトレーニング	18.0%
	45～54歳	ウォーキング・ 軽い体操	42.7%	ジョギング・マラソン	16.3%	ゴルフ	12.8%
	55～64歳	ウォーキング・ 軽い体操	43.3%	ゴルフ	16.8%	器具を使ったトレーニング	13.9%
	65～74歳	ウォーキング・ 軽い体操	54.7%	ゴルフ	18.1%	器具を使ったトレーニング	10.3%
	75歳以上	ウォーキング・ 軽い体操	49.4%	ゴルフ	12.8%	ジョギング・マラソン	8.4%
女	総数	ウォーキング・ 軽い体操	50.3% H28:48.0% 1位	器具を使ったトレーニング	11.4% H28:13.6% 2位	ヨガ	10.7% H28:調査 項目なし
	10～14歳	ウォーキング・ 軽い体操	42.5%	ジョギング・マラソン	32.6%	バドミントン	28.6%
	15～24歳	ウォーキング・ 軽い体操	39.0%	ジョギング・マラソン	19.9%	バドミントン	14.7%
	25～34歳	ウォーキング・ 軽い体操	47.3%	ヨガ	21.8%	器具を使ったトレーニング	10.1%
	35～44歳	ウォーキング・ 軽い体操	54.2%	ヨガ	18.2%	サイクリング	13.4%
	45～54歳	ウォーキング・ 軽い体操	48.7%	器具を使ったトレーニング	12.1%	ヨガ	10.2%
	55～64歳	ウォーキング・ 軽い体操	55.4%	器具を使ったトレーニング	17.7%	ヨガ	10.9%
	65～74歳	ウォーキング・ 軽い体操	54.4%	器具を使ったトレーニング	14.5%	ヨガ	6.1%
	75歳以上	ウォーキング・ 軽い体操	52.3%	器具を使ったトレーニング	6.4%	グラウンドゴルフ	3.6%

3 趣味・娯楽

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は 493 万3千人で、行動者率は 87.0%となっている。これは全国平均の 86.3%を上回っており、平成 28 年と比べると 3.6 ポイントの減少となっている。また、男女別に見ると、男女ともに平成28年と比べて行動者率は減少している。〔表4〕

表4 「趣味・娯楽」の行動状況(令和3年・平成 28 年)

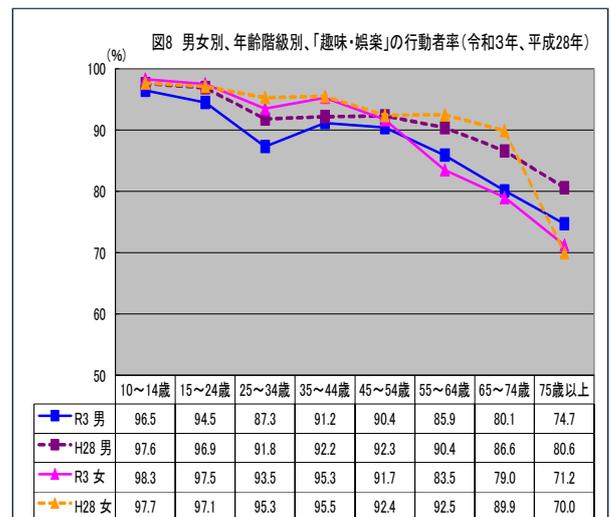
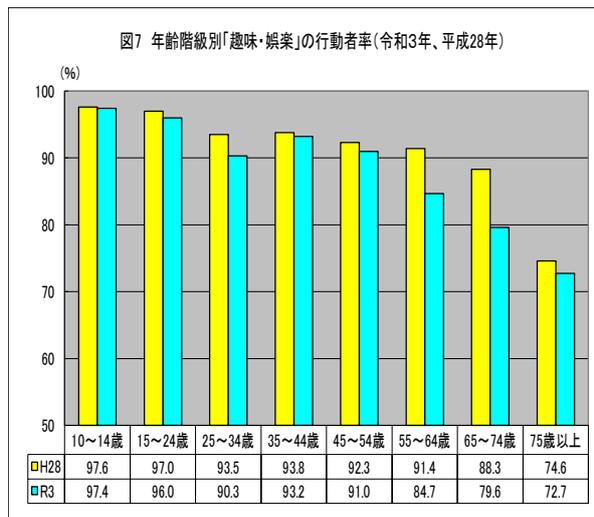
	10 歳以上推定人口 (千人)			行動者数 (千人)			行動者率 (%)		
	R3	H28	増減	R3	H28	増減	R3	H28	増減
総数	5,670	5,614	56	4,933	5,087	-154	87.0	90.6	-3.6
男	2,819	2,795	24	2,451	2,534	-83	86.9	90.7	-3.8
女	2,851	2,819	32	2,482	2,553	-71	87.1	90.6	-3.5
男女差	-32	-24	-8	-31	-19	-12	-0.2	0.1	-0.3

(参考)行動者率の全国順位

	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
令和3年	東京都	91.4%	愛知県	89.3%	神奈川県	89.2%	6位	87.0%	86.3%
平成 28 年	千葉県	90.6%	東京都 神奈川県	90.1%			1位	90.6%	87.0%

年齢階級別に「趣味・娯楽」の行動者率をみると、10～14 歳が 97.4%と最も高くなっている。平成 28 年と比較すると、全ての年代で行動者率が減少しており、特に 65～74 歳で 8.7 ポイントと最も減少している。〔図7〕

これを男女別にみると、全体の行動者率と同様に男女とも 10～14 歳が最も割合が高くなっている(男性 96.5%、女性 98.3%)。平成 28 年と比較すると、男女とも 65～74 歳で最も減少している(男性 6.5 ポイント、女性 10.9 ポイント)。〔図8〕



男女別に「趣味・娯楽」の種類別の行動者率をみると、男女とも「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」の割合が最も高い。

また、年齢階級別にみると、10～14歳では「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」、15～64歳では「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」、65歳以上では、「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も高くなっている。〔表5〕

表5 男女別、年齢階級別「趣味・娯楽」の種類別行動者率の順位(令和3年)

		1位		2位		3位	
総数	総数	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	55.4% H28:53.3% [2位]	映画館以外での映画鑑賞	53.8% H28:57.9% [1位]	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	43.7% H28:38.6% [5位]
	10～14歳	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	81.7%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	73.4%	映画館以外での映画鑑賞	69.8%
	15～24歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	82.6%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	70.4%	映画館以外での映画鑑賞	68.0%
	25～34歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	74.0%	映画館以外での映画鑑賞	67.7%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	66.5%
	35～44歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	69.5%	映画館以外での映画鑑賞	66.8%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	61.7%
	45～54歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	65.1%	映画館以外での映画鑑賞	60.1%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	52.9%
	55～64歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	52.7%	映画館以外での映画鑑賞	50.6%	趣味としての読書	35.0%
	65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング	39.7%	映画館以外での映画鑑賞	38.5%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	31.5%
	75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	40.3%	趣味としての読書	26.3%	映画館以外での映画鑑賞	24.2%
男	総数	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	55.4% H28:53.7% [2位]	映画館以外での映画鑑賞	53.4% H28:57.8% [1位]	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	46.8% H28:43.0% [3位]
	10～14歳	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	83.7%	マンガを読む	66.5%	映画館以外での映画鑑賞	66.1%
	15～24歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	81.2%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	77.5%	映画館以外での映画鑑賞	65.5%
	25～34歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	71.0%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	68.6%	マンガを読む	63.3%
	35～44歳	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	66.9%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	66.7%	マンガを読む	66.5%

	45～54 歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	62.2%	映画館以外での映画鑑賞	59.0%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	52.8%
	55～64 歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	54.7%	映画館以外での映画鑑賞	51.1%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	30.5%
	65～74 歳	映画館以外での映画鑑賞	39.8%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	32.9%	園芸・庭いじり・ガーデニング	31.0%
	75 歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	36.5%	映画館以外での映画鑑賞	27.5%	趣味としての読書	26.6%
	総 数	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	55.4% H28:52.9% [2位]	映画館以外での映画鑑賞	54.1% H28:58.0% [1位]	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	40.5% H28:34.3% [7位]
女	10～14 歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	86.0%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	79.6%	映画館以外での映画鑑賞	73.8%
	15～24 歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	84.1%	映画館以外での映画鑑賞	70.7%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	63.0%
	25～34 歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	77.2%	映画館以外での映画鑑賞	76.4%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	64.1%
	35～44 歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	72.6%	映画館以外での映画鑑賞	68.6%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	56.2%
	45～54 歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	68.2%	映画館以外での映画鑑賞	61.2%	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	53.0%
	55～64 歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	50.6%	映画館以外での映画鑑賞	50.1%	趣味としての読書	40.2%
	65～74 歳	園芸・庭いじり・ガーデニング	47.7%	映画館以外での映画鑑賞	37.3%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	30.3%
	75 歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	43.2%	趣味としての読書	26.1%	映画館以外での映画鑑賞	21.7%

4 ボランティア活動

過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は84万6千人で、行動者率は14.9%となっている。これは全国平均の17.8%を下回っており、平成28年と比べて10.3ポイント減少している。〔表6〕

表6 「ボランティア活動」の行動状況(令和3年・平成28年)

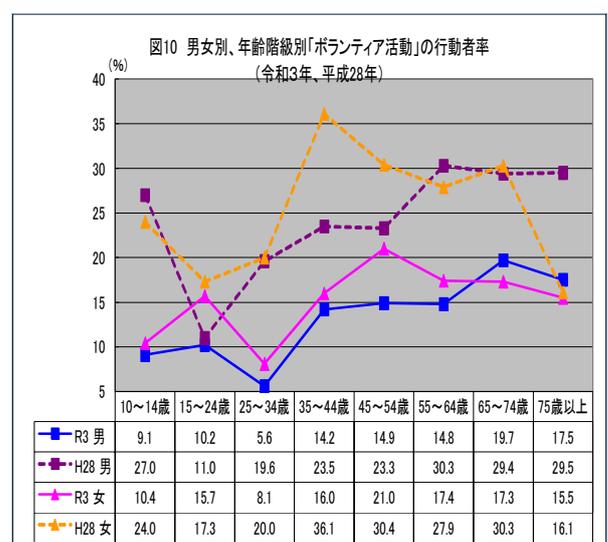
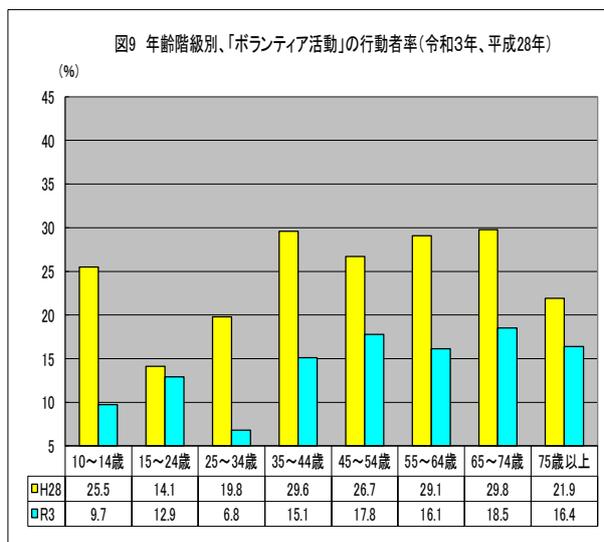
	10歳以上推定人口(千人)			行動者数(千人)			行動者率(%)		
	R3	H28	増減	R3	H28	増減	R3	H28	増減
総数	5,670	5,614	56	846	1,414	-568	14.9	25.2	-10.3
男	2,819	2,795	24	391	676	-285	13.9	24.2	-10.3
女	2,851	2,819	32	455	738	-283	16.0	26.2	-10.2
男女差	-32	-24	-8	-64	-62	-2	-2.1	-2.0	-0.1

(参考)行動者率の全国順位

	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
令和3年	島根県	25.6%	佐賀県	24.8%	岩手県	24.4%	45位	14.9%	17.8%
平成28年	滋賀県	33.9%	岐阜県	33.4%	島根県	33.1%	36位	25.2%	26.0%

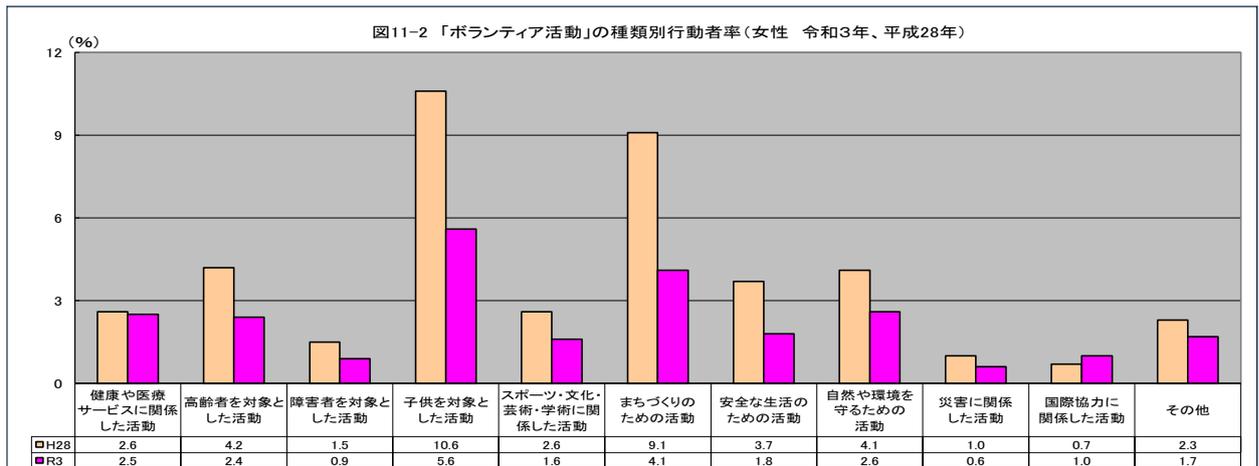
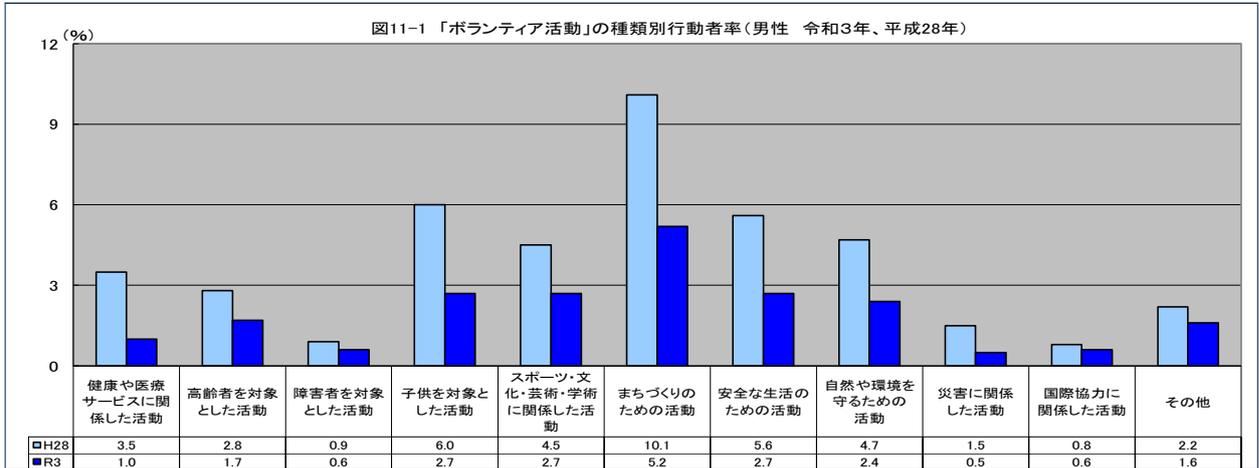
年齢階級別に「ボランティア活動」の行動者率をみると、65～74歳が18.5%と最も高くなっている。平成28年と比較すると、全ての年代で減少しており、特に10～14歳が15.8ポイントと最も減少している。〔図9〕

これを男女別にみると、男性では65～74歳の19.7%、女性では45～54歳の21.0%が最も高くなっている。平成28年と比較すると、男女ともに全ての年代で減少しており、最も減少しているのは、男性では10～14歳の17.9ポイント、女性では35～44歳の20.1ポイントとなっている。〔図10〕



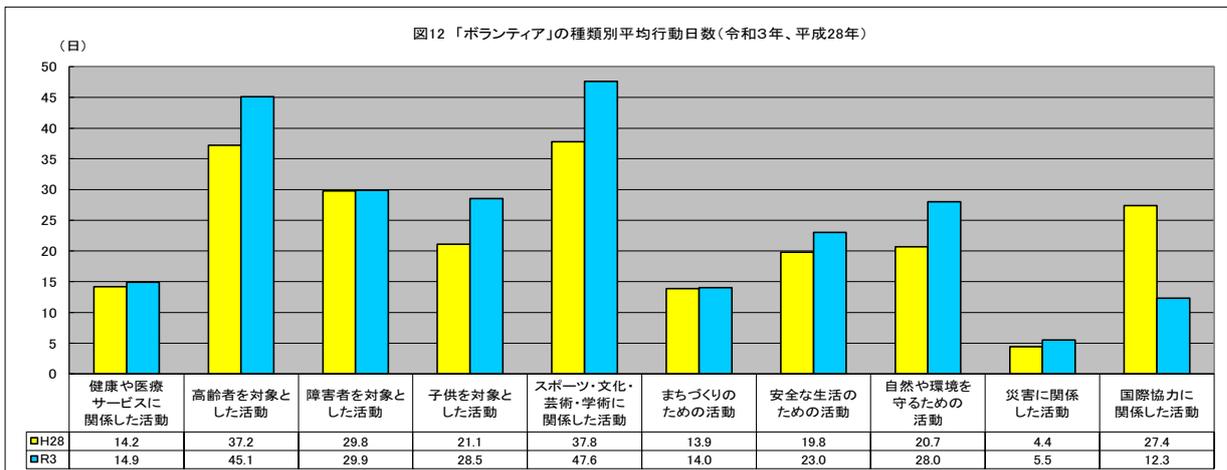
男女別に「ボランティア活動」の種類別の行動者率をみると、男性では「まちづくりのための活動」の5.2%、女性では「子供を対象とした活動」の5.6%が最も高くなっている。平成28年と比較すると、男性では「まちづくりのための活動」が4.9ポイントと最も減少しており、女性では「子供を対象とした活動」、「まちづくりのための活動」が5.0ポイントと最も減少している。

[図 11-1・11-2]



「ボランティア活動」の種類別の平均行動日数をみると、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」が47.6日と最も多く、平成28年と比較すると、9.8日と最も増加している。

[図 12]



5 旅行・行楽

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は 271 万 6 千人で、行動者率は 47.9%となっている。これは全国平均の 49.5%を下回り、平成 28 年と比べて 29.5 ポイントの減少となっている。〔表7〕

表7 「旅行・行楽」の行動状況(令和3年・平成28年)

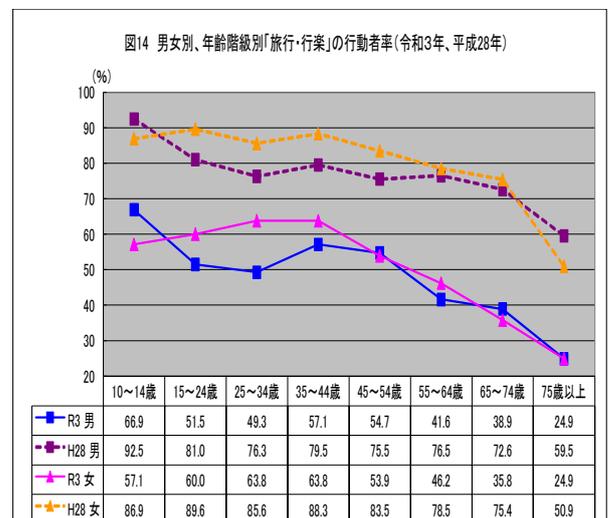
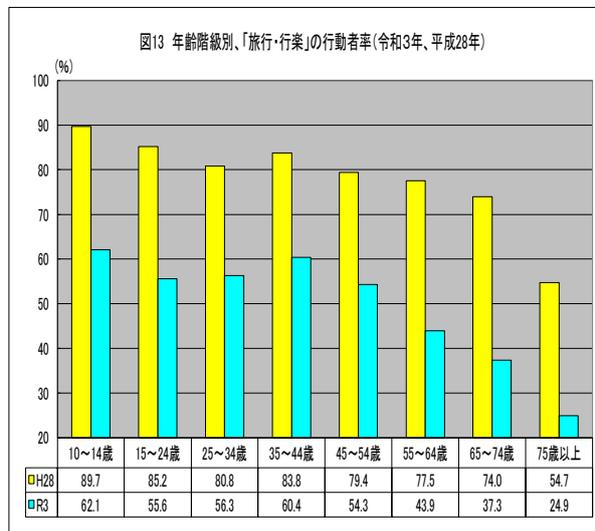
	10歳以上推定人口(千人)			行動者数(千人)			行動者率(%)		
	R3	H28	増減	R3	H28	増減	R3	H28	増減
総数	5,670	5,614	56	2,716	4,343	-1,627	47.9	77.4	-29.5
男	2,819	2,795	24	1,326	2,117	-791	47.0	75.7	-28.7
女	2,851	2,819	32	1,391	2,226	-835	48.8	78.9	-30.1
男女差	-32	-24	-8	-65	-109	44	-1.8	-3.2	1.4

(参考)行動者率の全国順位

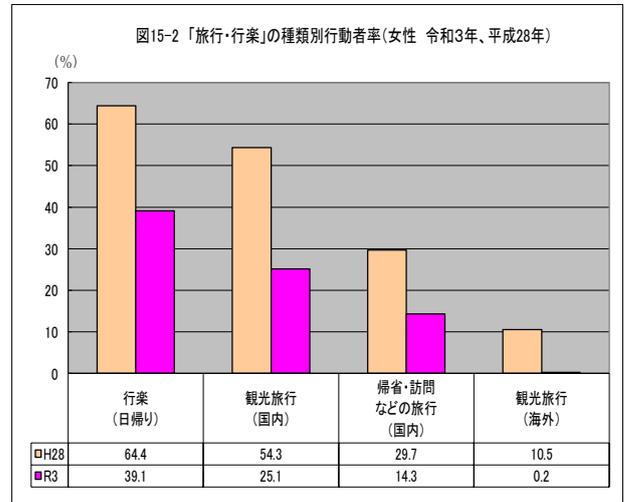
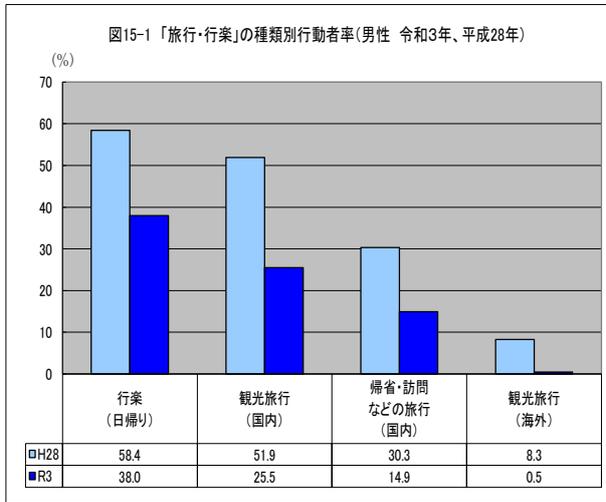
	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
令和3年	愛知県	57.6%	東京都	55.5%	神奈川県	54.5%	16位	47.9%	49.5%
平成28年	東京都 愛知県	78.5%			神奈川県	78.0%	6位	77.4%	73.5%

年齢階級別に「旅行・行楽」の行動者率をみると、10～14歳が62.1%と最も高くなっている。平成28年と比較すると、全ての年代で減少しており、特に65～74歳で36.7ポイントと最も減少している。〔図13〕

これを男女別にみると、男性では10～14歳の66.9%、女性では25～34歳、35～44歳の63.8%が最も高くなっている。平成28年と比較すると、男女とも全ての年代で減少しており、最も減少しているのは、男性が55～64歳の34.9ポイント、女性が65～74歳の39.6ポイントとなっている。〔図14〕



男女別に「旅行・行楽」の種類別の行動者率をみると、男女とも「行楽(日帰り)」が最も高い(男性 38.0%、女性 39.1%)。平成 28 年と比較すると、男女とも全ての種類において減少している。〔図 15-1・15-2〕



「旅行・行楽」の頻度別に行動者率をみると、「年 10 回以上」が 11.5%と最も高く、平成 28 年と比較すると、全ての頻度で減少している。〔図 16〕

